

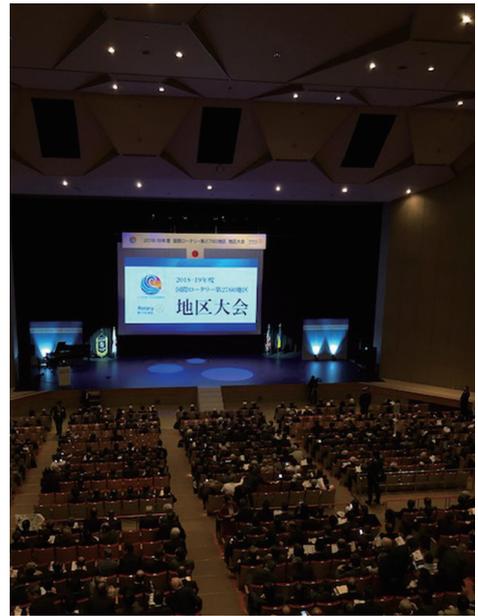
2018-19 年度 地区大会に参加して

春日井ロータリークラブ
朽本 正樹



今年は、何故「蒲郡」なのかと思いつつ、春日井RC輩出の加藤ガバナー補佐の応援と、当クラブの創立50周年表彰、及びチャーターメンバーである早川八郎君の在籍50年表彰を祝う為に、大会2日目の会場に向きました。特に早川さんは半世紀もの間RCに関わり、本人は「RCには貢献した。会費を納め続けた事に関しては！」と謙遜されていましたが、驚きと共に、当クラブの誇りでもあったと思います。

大会は三味線とダンスの独創的なパフォーマンスや女子高校生の華やかなマーチングバンドが色を添える中、特に印象に残った田中RI会長代理の挨拶について述べたいと思います。



RI会長代理挨拶の趣旨は

①「ロータリーの友」を熱心に読もう。

RC活動の情報を得ることにより、ロータリアンの心が刺激を受け、心が活性化される。赤ボールペンでマークするほど読み込んで欲しい。

② 会員増強に努めよう。

多様な職業・年齢層・性別を持つメンバーが増える事により、変化に対応できる魅力あるクラブ作りができる。



それぞれ「インスピレーションになろう」につながる。との事でした。

鹿児島なまりの挨拶は、とてもわかりやすく、温かく感じました。

これは、午後から行われた、小説家・浅田次郎氏の講演で、千利休の美学と重ね合わせて述べられた、①シンプル（わかりやすく）②ナチュラル（美しく）③オリジナル（面白く）

は氏の小説家としてのポリシーであり、それを実践したような内容でありました。

今回は、村井ガバナーの意向により、ホストクラブの蒲郡で開催されたとの事ですが、手作りとは思えないほど精度を有し、きめ細かい対応をしていただきました。

ただ、豪華な弁当で昼食をしている間に、屋台の、あさりの具沢山「ガマゴリうどん」が品切れにより、食べる事が出来なかったことが、少し心残りではありました。

ホストの蒲郡RCの皆様には、本当に素晴らしい大会を設営していただき、ありがとうございました。身を乗り出すような中身の濃い大会であり、大変有意義でした。

見どころいっぱいの蒲郡に、また伺いたいと思います。

ハッピークラブ・ゴー！

